

研究課題「膠原病もしくは膠原病が疑われる患者における自己抗体の精査」に関する情報公開

1. 研究の対象

2015年1月30日～現在までに当院で膠原病もしくは膠原病が疑われ診断のために皮膚生検を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

膠原病は、いまだ原因不明で根本的な治療法が確立していない病気の集まりで、その多くは厚生労働省により難病と指定されています。膠原病には様々な病気があり、さらには同じ病気の中でも様々なタイプに分かれます。以前からの研究で、膠原病患者さんの血液の中に存在する細胞の成分に対する抗体の種類と、病気の種類や病気のタイプが関係することが多数わかっています。抗体の種類を決定することは膠原病のなかのどの病気なのか、どのようなタイプに属し、どのような治療法が適しているか、を決定する重要な情報になるのみならず、今後の病気の経過をある程度予測するためにも重要です。今回の研究では、代表的な膠原病の抗体のうち、どれに対する抗体を患者さんが持っているのかについて調べる研究です。また、本研究では、これまでに診断のために施行した皮膚生検組織を用いて、これらの同定された分子のタンパク発現を検討します。対象の方に新たに処置を行うことはありません。

今回、私たちはあなたの病気の詳細な診断に迫りたいと考えています。そしてあなたの病気のメカニズムを明らかにし、新しい治療法の開発につなげていきたいと考えています。本研究の研究期間は2020年01月29日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

パラフィン固定された皮膚組織：診断時に採取され、保存しているもの

4. 外部への試料・情報の提供

本研究の共同研究施設に他大学や他病院（5. 研究組織参照）が入っていますが、本試料は提供致しません。また、他大学や他病院から試料（パラフィン固定された皮膚組織）の提供も受けません。

5. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科皮膚科学 室慶直

名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学 勝野雅央
名古屋大学医学部附属病院皮膚科 桃原真理子
三重大学医学部皮膚科 欠田成人
藤田保健衛生大学膠原病内科 深谷修作、安岡秀剛
藤田医科大学皮膚科 杉浦一充
東京慈恵会医科大学リウマチ膠原病内科 吉田健
滋賀医科大学皮膚科 藤本徳毅
高知大学皮膚科 中島喜美子
産業医科大学成人老年看護学 佐藤実
愛知医科大学腎臓リウマチ膠原病内科 野畑宏信
群馬大学呼吸器内科 山口公一
旭川医科大学第一内科 菊地史織
名古屋第一日赤病院皮膚科 澤田昌樹
国立国際医療研究センター呼吸器内科 泉信有
名古屋医療センター膠原病内科 片山雅夫
東京慈恵会医科大学皮膚科 築場広一
あいち小児保健医療総合センター感染症科 岩田直美
秋田大学血液腎臓膠原病内科 奈良瑞穂
一宮市民病院皮膚科 満間照之

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科皮膚科学 室 慶直

以上